

2019年11月6日

「Microsoft Azure Peering Service」に対応した 「Microsoft Office 365」などへのセキュアな閉域接続を開始

NTTコミュニケーションズ(以下 NTT Com)は、マイクロソフト コーポレーション(以下 マイクロソフト)の「Microsoft Azure Peering Service」に対応した閉域接続サービスを、2020年3月末より提供開始^{※1}します。

「Microsoft Azure Peering Service」は、マイクロソフトの「Microsoft Office 365」(以下「Office 365」)などのクラウド^{※2}へ直接接続することを可能にするサービスです。このたびNTT Comは、「Multi-Cloud Connect」および「Flexible InterConnect」において「Microsoft Azure Peering Service」接続に対応し、インターネットではなく閉域ネットワークでのクラウド利用を実現します。

1. 背景

企業における「Office 365」などのクラウド利用の増加に伴って、セキュアで安定した閉域ネットワーク経由でクラウドを利用したいというニーズも増加しています。

従来マイクロソフトは、一部の企業に対し、同社の「ExpressRoute」^{※3}による「Office 365」などへの直接接続機能を提供することで閉域ネットワーク環境の構築に対応していました。このたび同社は、すべての企業に対し、同等の機能を利用可能とする「Microsoft Azure Peering Service」の提供を決定しました^{※4}。これを受けてNTT Comは、2020年3月からの「Microsoft Azure Peering Service」提供開始に合わせ、いち早く「Microsoft Azure Peering Service」への閉域接続に対応し、セキュアで安定した利用環境を実現します。

なお、スムーズな対応の開始に向け、マイクロソフトと連携して試験的な先行導入を実施します。2019年11月より、一部のお客さまの協力を得て品質の確認などを行い、本格提供時の品質向上などに活用します。

2. 特長

(1) 高品質な「Microsoft Azure Peering Service」接続を利用可能

「Microsoft Azure Peering Service」接続で「Office 365」などのクラウドを利用する場合、マイクロソフトにおいてトラフィックが優先的に扱われるため、インターネットと比べて安定した通信環境を構築できます。

また、接続にあたってマイクロソフトの承認手続きが不要なため、「Multi-Cloud Connect」あるいは「Flexible InterConnect」を利用されるすべてのお客さまが「Microsoft Azure Peering Service」に接続することができます。

(2) さまざまな ICT リソースを柔軟に接続可能

NTT Com の「Multi-Cloud Connect」を利用する場合、企業向け VPN「Arcstar Universal One」から「Microsoft Azure Peering Service」に接続することができます。さらに、インターコネクトサービス「Flexible InterConnect」を利用する場合には、「Arcstar Universal One」に加え、専用線や、お客様の拠点やデータセンターからも直接「Microsoft Azure Peering Service」に接続することができます。

なお「Flexible InterConnect」は 1 つの物理ポートからさまざまなクラウドサービスやデータセンターと接続することが可能なため、複数のクラウドサービスを併用されている場合にも、接続先ごとに回線を用意する必要がありません。

3. 提供開始日

2020 年 3 月末^{※1}

4. 提供条件など

NTT Com が提供する「Multi-Cloud Connect」もしくは「Flexible InterConnect」の契約が必要となります。その他、お申し込み方法や利用料金などの詳細については、NTT Com 営業担当者までお問い合わせください。

5. 先行導入企業からのコメント

■北海道総合通信網株式会社 常務取締役 営業統括部長 佐藤 哲夫 氏

北海道総合通信網株式会社は、NTT Com がマイクロソフトの「Microsoft Azure Peering Service」に対応したサービスメニューを提供することを歓迎いたします。

本サービスの開始により、「Office 365」などのクラウドへ「Microsoft Azure Peering Service」を経由して安定したネットワーク環境でセキュアに接続されるため、より快適なクラウド利用の実現ができるものと期待しています。当社は NTT Com とのデータセンターサービスとクラウド接続サービスにおけるパートナーリングにより、お客様のビジネスの変革に貢献していきます。

6. 本サービスの提供開始に関するコメント

■NTT コミュニケーションズ エバンジェリスト 吉田 友哉

NTT Com は、これまで専用線や VPN などさまざまなネットワークサービスの提供を通じて培った、閉域接続に関するノウハウおよび技術にもとづき、「Microsoft Azure Peering Service」との高品質な閉域接続を実現します。これによって、「Office 365」などの SaaS および PaaS を活用したビジネスの促進に貢献します。

**■ Jeff Cohen, Partner Group Manager, Azure Networking,
Microsoft Corporation**

マイクロソフトは、「Microsoft Azure Peering Service」をはじめとした NTT Com とのパートナーリングを歓迎します。NTT Com のテクノロジーとマイクロソフトのテクノロジーを組み合わせ、お客さまのご利用形態にあわせた最適なネットワークを安全に提供し、お客さまのビジネスの変革に貢献していきます。

- ※1 : マイクロソフトから「Microsoft Azure Peering Service」の提供が開始された後、「Multi-Cloud Connect」をご利用のお客さま向けに提供を開始します。なお「Flexible InterConnect」をご利用のお客さま向けには、2020年7月から提供を開始する予定です。
- ※2 : 「Microsoft Azure」の各種 PaaS および SaaS が対象です。
- ※3 : 「Office 365」や「Microsoft Azure」のデータセンターと直接接続することを可能にするサービスです。VPN などから「ExpressRoute」に接続することで、「Office 365」や「Microsoft Azure」をセキュアな閉域ネットワークから利用できるようになります。
- ※4 : マイクロソフトが 2019 年 11 月 5 日(米国時間)に開催したイベント「Ignite」において発表されました。